



ぴあすまいる西センター

福岡市西区にある障害者の日中ケアと仕事の場。どんなに障害が重くとも安心して暮らすことができる場づくりをめざす。ここでは個々の状態に応じてフレキシブルにケアの環境を整え、スタッフ相互が密に情報を共有する体制が整っており、想いも共有しながらその能力を十分に発揮している。

社会の心の障壁をまずは建物景観を通してほぐしてゆくことを計画のポイントに加え、アクティブに活動する安心の「砦」として、外観には穏やかな主張と寛容さの姿を表現した。障害者ケア施設のイメージを和らげている。内部ではメリハリのある機能配置、「ニュートラル空間と可変」の概念も取り入れている。特に2×4材を用いた長スパンのトラスは広い無柱空間を実現し、このコンセプトに貢献している。スタッフには地域連携の意識が高い。この場の実現が人々との交流として根つき広がり、地域が育ち、誰もが安心して暮らせる「まちづくり」へと発展することをめざしている。

- 1 正面外観
- 2 生活介護室
- 3 生活介護室
- 4 玄関ホール
- 5 作業室
- 6 トイレ・浴室
- 7 車寄せまわり

